

3 財務内容の状況

(1) 流動比率の変化

短期的な支払能力を示す流動比率は、全体では前年に比べ上昇した。取扱品目別にみると、水産物及び青果物では上昇し、花き及び食肉では下降した。

流動比率(表3-1)

	令和5年	令和6年
全 体	212.33%	214.67%
水 産 物	186.27%	190.66%
青 果 物	233.97%	235.54%
花 き	188.61%	183.78%
食 肉	238.55%	236.36%

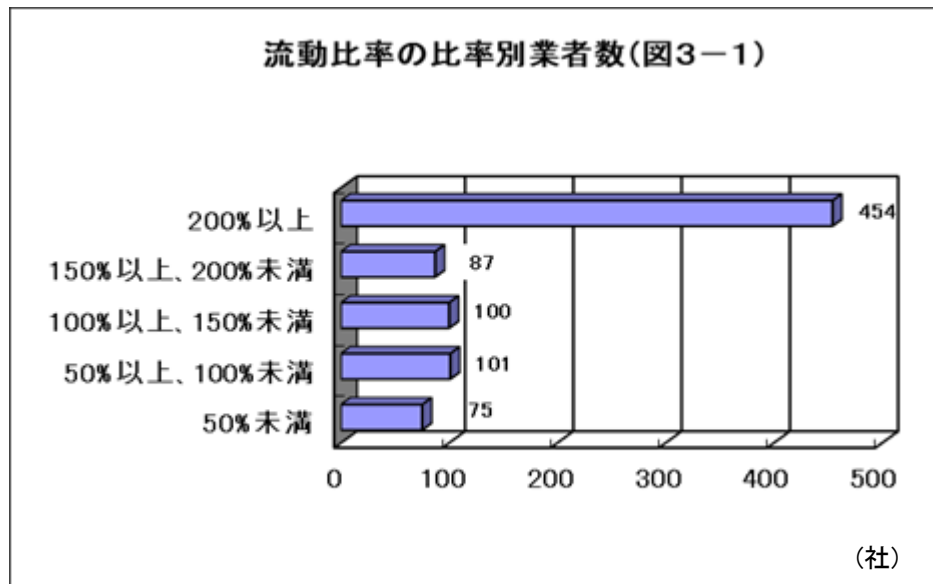
流動比率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物及び食肉では上昇した業者数が下降した業者数を上回り、青果物及び花きでは下降した業者数が上昇した業者数を上回った。

流動比率の変化(表3-2)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	51.9%	46.0%	2.1%
水 産 物	56.5%	42.2%	1.3%
青 果 物	44.7%	51.4%	3.9%
花 き	38.9%	61.1%	0.0%
食 肉	65.2%	34.8%	0.0%

(2) 流動比率の比率別業者数

流動比率が200%以上の業者は454社であった。一方で、100%未満の業者は176社であった。



取扱品目別にみると、100%未満の業者は、水産物では123社(25.8%)、青果物では47社(16.7%)、花きでは5社(13.9%)、食肉では1社(4.3%)となっており、水産物の割合が最も高かった。

流動比率の比率別業者数(表3-3)

単位：社

	50% 未満	50% 以上 100% 未満	100% 以上 150% 未満	150% 以上 200% 未満	200% 以上
全 体	75 (9.2%)	101 (12.4%)	100 (12.2%)	87 (10.6%)	454 (55.6%)
水 産 物	54 (11.3%)	69 (14.5%)	55 (11.6%)	45 (9.5%)	253 (53.2%)
青 果 物	20 (7.1%)	27 (9.6%)	33 (11.7%)	31 (11.0%)	171 (60.6%)
花 き	1 (2.8%)	4 (11.1%)	9 (25.0%)	6 (16.7%)	16 (44.4%)
食 肉	0 (0.0%)	1 (4.3%)	3 (13.0%)	5 (21.7%)	14 (60.9%)

(3) 売掛債権回転日数の増減

販売代金の回収期間を示す売掛債権回転日数は、全体では前年に比べ、ほぼ同じであった。取扱品目別にみると水産物ではほぼ同じであり、青果物、花き、食肉では長くなった。

売掛債権回転日数(表3-4)

	令和5年	令和6年
全 体	22.30 日	22.61 日
水 産 物	25.95 日	25.86 日
青 果 物	16.44 日	17.31 日
花 き	37.92 日	38.52 日
食 肉	31.10 日	31.63 日

売掛債権回転日数が長くなった業者数と短くなった業者数の割合をみると、全体では長くなった業者数が短くなった業者数を上回った。取扱品目別では、水産物では短くなった業者数が長くなった業者数を上回り、青果物、花き及び食肉では長くなった業者数が短くなった業者数を上回った。

売掛債権回転日数の増減(表3-5)

	長くなった業者	短くなった業者	不明
全 体	50.2%	47.7%	2.1%
水 産 物	43.5%	55.3%	1.3%
青 果 物	59.6%	36.5%	3.9%
花 き	58.3%	41.7%	0.0%
食 肉	60.9%	39.1%	0.0%

(4) 買掛債務回転日数の増減

仕入代金の支払期間を示す買掛債務回転日数は、全体では前年に比べ長くなった。取扱品目別にみると水産物及び食肉では短くなり、青果物及び花きでは長くなった。

買掛債務回転日数(表3-6)

		令和5年	令和6年
全	体	13.16 日	13.82 日
水	産物	15.52 日	15.19 日
青	果物	11.40 日	12.96 日
花	き	29.47 日	30.92 日
食	肉	8.25 日	8.16 日

買掛債務回転日数が長くなった業者数と短くなった業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物では短くなった業者数が長くなった業者数を上回り、青果物、花き及び食肉では長くなった業者数が短くなった業者数を上回った。

買掛債務回転日数の増減(表3-7)

		長くなった業者	短くなった業者	不明
全	体	50.2%	47.7%	2.1%
水	産物	45.8%	52.9%	1.3%
青	果物	56.0%	40.1%	3.9%
花	き	55.6%	44.4%	0.0%
食	肉	60.9%	39.1%	0.0%

(5) 借入金比率の変化

借入金比率は、全体では前年に比べ下降した。取扱品目別にみると、全ての品目において下降した。

借入金比率(表3-8)

	令和5年	令和6年
全 体	44.84%	40.04%
水 産 物	56.57%	49.88%
青 果 物	33.96%	30.13%
花 き	43.00%	40.66%
食 肉	50.83%	49.56%

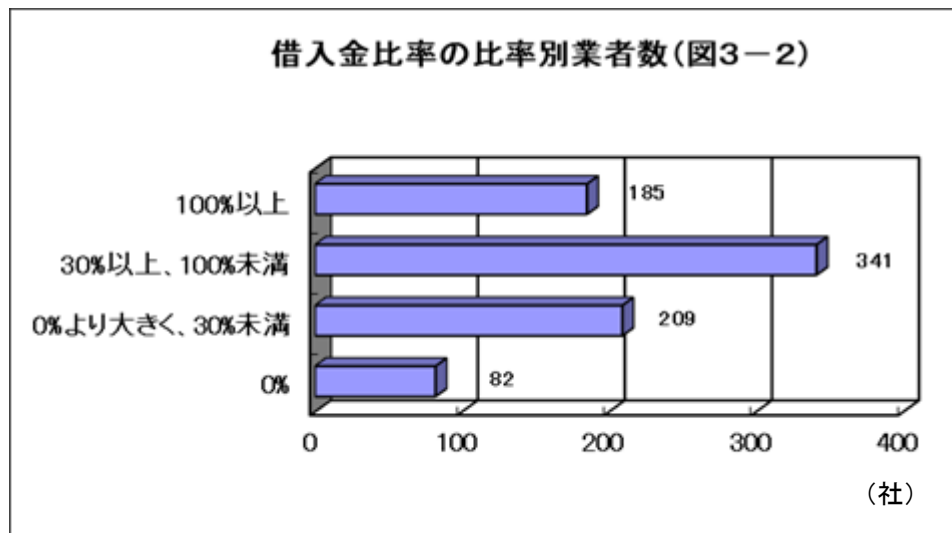
借入金比率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において下降した業者数が上昇した業者数を上回った。

借入金比率の変化(表3-9)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	26.8%	71.1%	2.1%
水 産 物	26.1%	72.7%	1.3%
青 果 物	24.1%	72.0%	3.9%
花 き	44.4%	55.6%	0.0%
食 肉	47.8%	52.2%	0.0%

(6) 借入金比率の比率別業者数

借入金比率別にみると、無借金経営(借入金比率0%)の業者が82社(10.0%)あった一方、借入金比率100%以上の業者が185社(22.6%)あった。



取扱品目別にみると、借入金比率が100%以上の業者の割合は、水産物では26.1%、青果物では19.1%、花きでは16.7%、食肉では4.3%であった。

借入金比率の比率別業者数(表3-10)

単位：社

	0%	0%より大きく 30%未満	30%以上 100%未満	100%以上
全 体	82 (10.0%)	209 (25.6%)	341 (41.7%)	185 (22.6%)
水 産 物	33 (6.9%)	113 (23.7%)	206 (43.3%)	124 (26.1%)
青 果 物	46 (16.3%)	81 (28.7%)	101 (35.8%)	54 (19.1%)
花 き	2 (5.6%)	11 (30.6%)	17 (47.2%)	6 (16.7%)
食 肉	1 (4.3%)	4 (17.4%)	17 (73.9%)	1 (4.3%)

(7) 自己資本比率の変化

長期的な財務の安全性を判断する自己資本比率は、全体では前年に比べ上昇した。取扱品目別にみると、全ての品目において上昇した。

自己資本比率(表3-11)

	令和5年	令和6年
全 体	33.89%	37.41%
水 産 物	20.63%	26.21%
青 果 物	46.67%	48.64%
花 き	24.26%	24.66%
食 肉	30.30%	32.41%

自己資本比率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において上昇した業者数が下降した業者数を上回った。

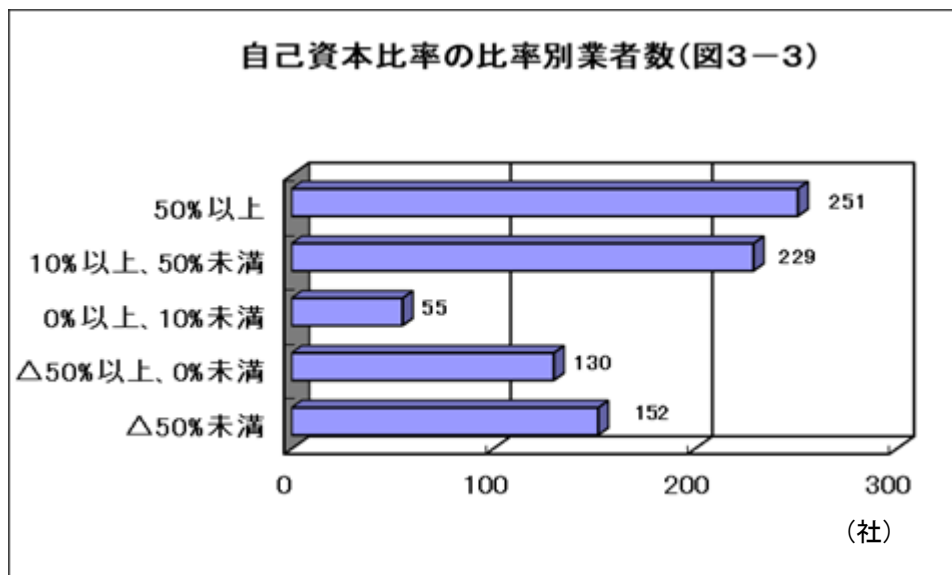
自己資本比率の変化(表3-12)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	65.2%	32.7%	2.1%
水 産 物	68.3%	30.5%	1.3%
青 果 物	60.3%	35.8%	3.9%
花 き	55.6%	44.4%	0.0%
食 肉	78.3%	21.7%	0.0%

(8) 自己資本比率の比率別業者数

自己資本比率が50%以上の業者が、全体では251社(30.7%)あった。一方で、自己資本比率がマイナス(債務超過)の業者が282社(34.5%)あった。

※ 前年調査 50%以上 232社、10~50% 219社、0~10% 62社、△50~0% 153社、~△50% 168社



取扱品目別にみると、青果物では50%以上の層が最も多く、水産物、花き及び食肉では10%以上50%未満の層が最も多かった。

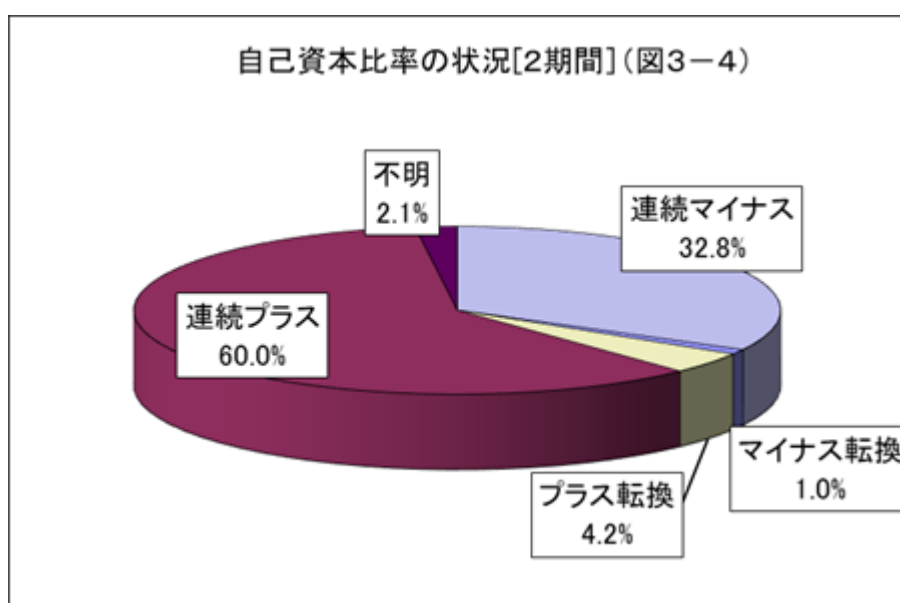
自己資本比率の比率別業者数(表3-13)

単位：社

	△50% 未満	△50% 以上 0% 未満	0% 以上 10% 未満	10% 以上 50% 未満	50% 以上
全 体	152 (18.6%)	130 (15.9%)	55 (6.7%)	229 (28.0%)	251 (30.7%)
水 産 物	102 (21.4%)	86 (18.1%)	30 (6.3%)	135 (28.4%)	123 (25.8%)
青 果 物	44 (15.6%)	36 (12.8%)	17 (6.0%)	68 (24.1%)	117 (41.5%)
花 き	6 (16.7%)	6 (16.7%)	4 (11.1%)	13 (36.1%)	7 (19.4%)
食 肉	0 (0.0%)	2 (8.7%)	4 (17.4%)	13 (56.5%)	4 (17.4%)

(9) 自己資本比率の状況(2期間)

自己資本比率が2期連続してプラスとなった業者は60.0%であった。一方で、2期連続してマイナスとなった業者は32.8%となった。また、プラスに転換した業者が4.2%、マイナスに転換した業者が1.0%となった。



取扱品目別にみると、全ての品目で2期連続してプラスとなった業者が半数を超えていた。一方で、2期連続してマイナスとなった業者は、水産物では38.2%、青果物では25.9%、花きでは33.3%、食肉では4.3%となった。

自己資本比率の状況(2期間)(表3-14)

単位：社

	連続プラス業者	プラス転換業者	マイナス転換業者	連続マイナス業者	不明
全 体	490 (60.0%)	34 (4.2%)	8 (1.0%)	268 (32.8%)	17 (2.1%)
水産物	260 (54.6%)	24 (5.0%)	4 (0.8%)	182 (38.2%)	6 (1.3%)
青果物	186 (66.0%)	9 (3.2%)	3 (1.1%)	73 (25.9%)	11 (3.9%)
花 き	24 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (33.3%)	0 (0.0%)
食 肉	20 (87.0%)	1 (4.3%)	1 (4.3%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)

(10) 経営の健全性に関する指標に該当する業者数

<p>経営の健全性に関する指標</p> <p>① 流動比率 100%を下回ること</p> <p>② 自己資本比率 10%を下回ること</p> <p>③ 3期連続して経常損失が生じること</p> <p>以上のいずれかに該当した場合</p>
--

上記指標に該当する業者数は次のとおりである。

該当業者は全体で47.0%と、前年(52.6%)より5.6ポイント下回った。

該当業者数(表3-15)

	該当業者数	上 記 指 標			全ての指標 に該当	調査対象 業者(注)
		流動比率 100%未満	自己資本比率 10%未満	3期連続 経常損失		
全 体	367 業者[47.0%] (415 業者)	169 業者 (170 業者)	324 業者 (359 業者)	97 業者 (164 業者)	41 業者 (66 業者)	781 業者 (789 業者)
水 産 物	240 業者[52.2%] (276 業者)	119 業者 (124 業者)	210 業者 (237 業者)	65 業者 (124 業者)	25 業者 (51 業者)	460 業者 (467 業者)
青 果 物	104 業者[39.7%] (113 業者)	44 業者 (40 業者)	92 業者 (97 業者)	28 業者 (39 業者)	14 業者 (14 業者)	262 業者 (262 業者)
花 き	17 業者[47.2%] (19 業者)	5 業者 (5 業者)	16 業者 (18 業者)	4 業者 (1 業者)	2 業者 (1 業者)	36 業者 (36 業者)
食 肉	6 業者[26.1%] (7 業者)	1 業者 (1 業者)	6 業者 (7 業者)	0 業者 (0 業者)	0 業者 (0 業者)	23 業者 (24 業者)

(注) 令和4年、令和5年、令和6年の3期連続して事業報告書が提出された業者

※ []内パーセンテージは全体又は取扱品目ごとの調査対象業者に占める上記指標該当業者の割合

※ 下段()内は前年の調査結果